

愛知教育大学 附属名古屋中学校管理棟改修 建物概要

■ 建物概要

名称	愛知教育大学 附属名古屋中学校管理棟
所在地	名古屋市東区大幸南1-126(附属名古屋中学校構内)
延床面積	1,150㎡
改修延床面積	1,048㎡
構造	鉄筋コンクリート造 3階建
設計	(建築) 株式会社 伊藤建築設計事務所 (電気・機械) 株式会社 あい設計
工事監理	愛知教育大学 財務部 施設課
施工	(建築) 株式会社 設幸工務店 (機械) 株式会社 中京技研 (電気) 株式会社 東海電工社
工期	平成24年8月～平成25年2月
階高	4.0m
外部仕上	【屋根】 ウレタン塗膜防水 【外壁】 防水型外装薄塗材 【建具】 アルミニウム製建具 軽量鋼製建具 鋼製建具
内部仕上	【床】 OAフロア, ビニル床シート, フローリング 【壁】 石膏ボードEP塗装, ビニルクロス 【天井】 岩面吸音板, 化粧石膏ボード
電気設備	電灯設備, 動力設備, 情報通信網設備, 火災報知設備 太陽光発電設備
機械設備	給水設備, 排水設備, 空調設備, 換気設備 衛生設備, 消火設備, 給湯設備, ガス設備

■ 整備の目的

本建物は長期的に健全な状態で継続使用する建物との位置付けでありながら昭和32年～33年に建設、昭和58年に内外部改修をされて以来本質的な改修を実施していないため経年劣化による老朽化及び利便性の悪化が進んでおり、また構造耐震指標 $I_s=0.49$ と建物としての耐震性が著しく低く、生徒・学生・教職員等に対し安全・安心かつ快適な教育研究環境が確保出来ていなかった。建物の耐震補強、および内外部改修等の全面的な改修を実施することによって安全・安心かつ高機能な施設となることを目的としている。

■ 設計の趣旨

・改修方針

建物の耐震化及び老朽改善を主として、多くの生徒・教職員が利用し教育研究成果の発表会などにおいて多数の来学者もあり広く公共性がある学校の中核的機能を有した管理棟であることから、本学附属学校にふさわしく、象徴的な建物となるようなデザイン及び機能を求めた。

・環境配慮

ライフサイクルコストの低減を課題とし、二酸化炭素排出量削減及び環境負荷低減を実現するため、外断熱、複層ガラスを採用している。設備面ではLED照明や高効率空調機器の採用により省エネを意識したものとなっている。

・色彩計画

校歌にうたわれる「白垂」を体現し内装、外装共に白色系を基調とし、周辺環境との調和を図るとともに、清潔感や、さわやかさを強調した。

・平面計画

間取り及び諸室の機能は現状に即したものであるが、職員室が無かったため新たに設置(会議室87㎡を模様替)し、教員の集約化による連携強化及び既存スペースの狭隘解消による使用環境の向上を目指した。

建物外観(改修前後)



改修後



愛知教育大学 附属名古屋中学校管理棟改修 配置図・キープラン



外部改修後
耐震補強
(鋼板内蔵RCブレース)



内部改修後 玄関ホール



内部改修後 事務室



内部改修後 職員室



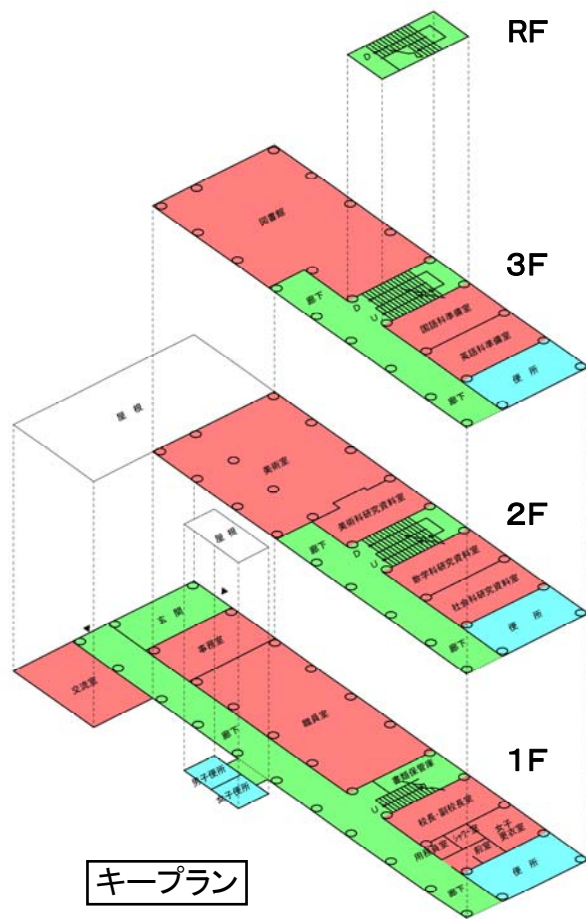
内部改修後 図書室



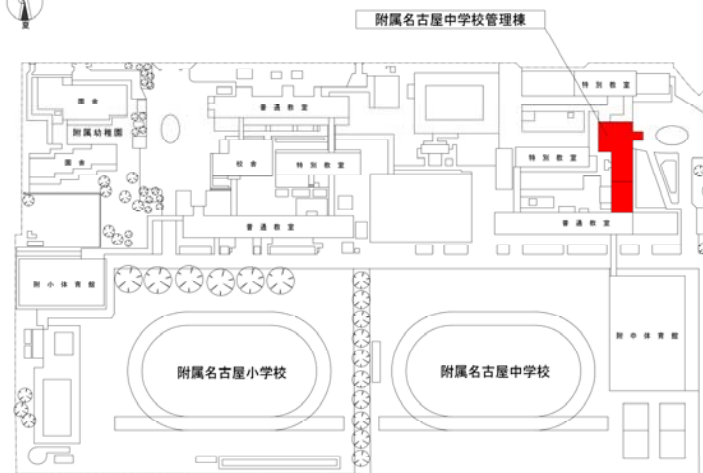
太陽光発電設備



便所改修



キープラン



大幸団地配置図